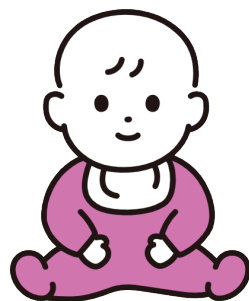


赤ちゃんの 防災

小さなお子さんは大人と同じような生活ができないため、防災対策も月齢に合わせた準備が必要です。

8月30日(水)～9月5日(火)は防災週間です。この機会に、忙しい育児の中でついつい後回しにしがちな災害への備えを改めて見直してみましょう。

問 健康推進課 ☎62-1235



監修 ピジョン株式会社

避難するときに気を付けたい4つの場面

1 避難所への移動



避難のときに重要なことは、両手が自由に使える状態であることです。家の中のわかりやすい場所に着脱しやすい抱っこひもを用意しておきましょう。赤ちゃんの頭を守れるようなものも用意しておくことでさらに安心です。

2 授乳・食事

災害に対するストレスから母乳が出にくくなることや、避難所に十分な離乳食が用意されていない場合に備えて、食べ慣れたものをいつもより少し多めに用意しておきましょう。



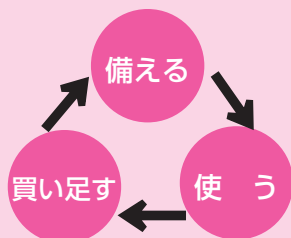
3 トイレ・衛生管理

衛生面の観点から、おむつやおしりふき、除菌シートなどは多く備えておきましょう。ママが使う生理用品や母乳パッドの備えもしておきましょう。



4 リラックス

大人と同じく赤ちゃんも特殊な環境にストレスを感じるものです。少しでも気持ちを和らげるために、よく遊ぶおもちゃや絵本、お菓子などを備えに加えておきましょう。



おすすめ！

ローリングストック

食料品や日用品を少し多めに購入しておき、古いものから順番に使い、使った分だけ買い足すことで、常に一定量の備蓄ができる方法です。

「あかちゃんとそなえの輪 推進プロジェクト」に賛同しました！

宿毛市は、ピジョン株式会社の「あかちゃんとそなえの輪 推進プロジェクト」に賛同し、赤ちゃんにやさしいまちづくりを推進しています。

「あかちゃんとそなえの輪 推進プロジェクト」とは…

ベビー用品メーカーのピジョン株式会社では、これまでの企業活動で培ってきた赤ちゃんに関する知見やデータを活用し、赤ちゃんに優しい場所をつくり続けるために「赤ちゃんの防災」をはじめとした、子育ての備えに関する取り組みを行っており、この考えに賛同した自治体や企業等と協力し、安全・安心な子育て環境の実現を目指すプロジェクトです。



あかちゃんと
そなえの輪
推進プロジェクト

宿毛市の

お父さん、お母さんへ

「備えをしておくことは、必ずしも自然災害のためだけではありません。急な体調不良などのちょっとした「もしも」にも役立つことがあります。今日できることから始めてみてはいかがでしょうか。」

pigeon